



# Lecture series

<第8回>

## かおりの生態学

～植物のかおりが織りなす生き物の関係～

平成27年 6月 23日(火) 15:00～16:15

京都大学附属図書館 1階  
ラーニング・コモンズ

(京都大学 学部生・院生対象)



塩尻かおり氏

(龍谷大学農学部植物生命科学科講師／  
前京都大学白眉センター特任助教)



Learning Commons

問合せ先：京都大学附属図書館 参考調査掛  
TEL:075-753-2636 / e-mail:ref@kulib.kyoto-u.ac.jp

## 今回のテーマ

葉っぱをちぎってみてください。どんな“かおり”がしますか？実はそのかおりは、どの虫に食べられているか、どの病気にかかっているかによって異なるのです。さらに、夜と昼とでも異なるのです。そして、そのかおりは生き物にとって情報となり、かおり受容した生き物の行動や形質に変化をもたらします。

本レクチャーでは、目にみることのできない“かおり”がいかに情報源になって生き物同士の関係を築いているのかを、私の研究成果をもとにお話したいと思います。さらに、そのかおり情報を使った農業技術についても紹介します。



アオムシコマユバチ

## 塩尻 かおり氏 自己紹介

京都生まれ、京都市育ち、京都在住。年齢は内緒。北海道大学農学部卒、京都大学大学院農学研究科修了後、海外学振でカリフォルニア州立大学デービス校にて博士研究員。その後、国内学振で京都大学生態学研究センターに所属しつつ、東海岸のバージニア州立大学、ニューヨーク州立大学アルバニー校とアメリカに滞在。2010年から京都大学白眉センターの特定助教となり、5年の任期満了後、龍谷大学農学部講師としてようやく定職を得る。植物の匂いがもたらす生物間相互作用が本職のテーマだが、「匂い（かおり）」をキーワードに異分野融合研究を始めている。